

丸井グループ

宮米織物60年の軌跡

昭和22年、戦時中から凍結していた、産地の在庫人絹織物の処理を目的として、在庫人絹織物処理委員会が発足。人絹織物を地元縫製業者に提供するなど、今後の石川県の縫製業発展の大きな要因となった。また、輸出羽二重のアメリカでの需要急増に伴い、GHQより緊急生産の至上命令が出された。昭和24年、絹人絹織物に関するすべての統制が撤廃され、25年までの1年間で絹織物は2.8倍、人絹織物は2.4倍の生産拡大をはたした。

1946 ▶ 1950

昭和21年

昭和25年

絹人絹織物に関するすべての統制が撤廃

宮米織物の動き

- 21年 資本金を10万円、増資
- 23年 資本金を70万円、増資
女子社員の不足と電力不足に直面
- 25年 資本金を140万円、増資

石川県の動き

- 21年 4月 衆議院選挙で米山久が当選。県初の女性代議士誕生。
- 22年 10月 第2回国民体育大会開幕。開会式場は金沢市運動場。
- 23年 6月 福井大地震発生。死者3,700人を出す。県内でも大聖寺、片山津などの町が被害を受けた
- 24年 7月 金沢大学が総合大学として創立。教育・医・工・理・薬・法文の各部をおく

日本と世界の動き

- 21年 1月 GHQは軍国主義者の公職追放を指示
- 4月 プロ野球再開
- 11月 日本国憲法公布
- 22年 1月 マッカーサー司令官、2・1ゼネスト中止を指令
- 23年 1月 ガンジー暗殺
- 24年 11月 湯川秀樹博士、ノーベル物理学賞受賞

●昭和21～22年

ブーム：出版ブーム、紙芝居、ベビーブーム、ブギウギ
流行語：アメヨコ、赤線、斜陽族、ご名答
流行歌：東京花売り娘、悲しき口笛、東京ブギウギ、みかんの花咲く丘

●昭和23年

ブーム：ロングスカート、アロハシャツ、パチンコ
流行語：鉄のカーテン、冷たい戦争、てんやわんや
流行歌：湯の町エレジー、憧れのハワイ航路、君待てども



織機の管変え作業



福井大地震での倒壊建物

●昭和24年

ブーム：サンダル、リーゼント、洋裁学校
流行語：アジャパー、ギョッ、アルサロ
流行歌：青い山脈、銀座カンカン娘、長崎の鐘

●昭和25年

ブーム：女剣劇、金へんブーム、前衛生け花
流行語：エチケット、オー！ミステーク、レッドバージ
流行歌：星かげの小怪、水色のワルツ、白い花の咲くころ

丸井グループ

宮米織物60年の軌跡

石川県の軽目羽二重は、昭和26年から翌27年にかけて記録的な生産高を示した。しかし、朝鮮戦争による特需景気もやがて失速、アメリカ市場の繊維製品の嗜好の変化も重なって、業界は深刻な不況へと突入していった。27年3月、輸出不振と生産設備の膨張に伴う需給のアンバランスを打開するため、北陸三県代表による危機突破大会が金沢で開催。同時に、同年からレーヨン織物の貸織り加工生産がスタートし、実質上の不況対策となった。

1951 ▶ 1955

昭和26年

昭和30年

北陸三県代表による危機突破大会が金沢で開催

宮米織物の動き

- 28年 資本金を210万円、増資
29年 資本金を280万円、増資

石川県の動き

- 26年 12月 北陸文化放送創立
27年 12月 内灘の試射場問題を巡り、政府と対立。いわゆる「内灘闘争」。期間限定使用で一時決着
28年 6月 政府は内灘を永久接収する方針を閣議で決定。村民は砂丘での座り込み、県庁前でのデモと反対運動を行った
29年 5月 町村合併が急ピッチで進行。石川県4番目の市として輪島市が誕生

日本と世界の動き

- 26年 9月 サンフランシスコ講和会議で対日講和条約と日米安全保障条約に調印
27年 5月 皇居前広場でデモ隊と警官が衝突。負傷者1,500人を出す。「血のメーデー」
28年 2月 NHK東京テレビが本放送を開始
29年 3月 ビキニ環礁の水爆実験に漁業中の第五福竜丸が遭遇、乗員23人が被爆

●昭和26～27年

ブーム：アメリカンジャズ、パチンコ、スクーター
流行語：逆コース、ノーコメント、デフレ、恐妻家
流行歌：あざみの歌、りんご追分、黄色いリボン

●昭和28年

ブーム：ベチコート、ミスコンテスト、性典映画
流行語：八頭身、さいざんず、ティーンエイジャー
流行歌：街のサンドイッチマン、雪の降る町を、君の名は



当時の織機と織り工さん



宮米織物 事務室



宮米織物 正面



現在の燃糸工場 原糸倉庫から見た当時の宮米織物工場全景

●昭和29年

ブーム：プロレス、マンボ、ヘップバーンスタイル

流行語：スポンサー、ロマンスグレー、死の灰

流行歌：お富さん、真室川音頭、岸壁の母

●昭和30年

ブーム：Aライン・Yラインの婦人、ポロシャツ、自動車賃貸業

流行語：オートメーション、ノイローゼ

流行歌：月がとっても青いから、この世の花、おんな船頭唄